



第90号

(年4回発行)

編集発行

前学院大 学  
弘報委員 会

印刷所

(有)小野印刷所

# 教学マネジメントと教育の質の向上への取組

学長 藁科 勝之



前89号は、補助金「教育の質の向上に関する客観的指標」についてでしたが、今号はもう一つの「改革総合支援事業」のタイプ1【Society5.0】の実現等に向けた特色ある教育の展開の項目も併せて取り上げたいと思います。この稿では特に二つを区別しないこととしますが、なんといってもやはり教育中心の項目となります。

○教学マネジメント体制の構築  
一当該全学体制は「教育推進会議」で、これを親委員会とする、子の委員会が「大学FD委員会」となります。問題はここ

でどんな取組をしたか/するかです。その取組は教育なので、当然、入口から出口までの各段階すなわち三つのポリシー(アドミッション、カリキュラム、ディプロマ)の達成度が求められます。

○入口入学者選抜方法の多面的・総合的な評価のあり方、選抜方法の妥当性の検証、新学修

指導要領への対応度(数学、情報、社会、国語、英語4技能)はどうか、また高大接続関係の取組としての入学前課題、初年次教育の実施、多様な背景を持った学生の受入への配慮(入学後の支援体制の整備状況)などがあります。

ここで課題となるのが、IR機能の強化です。IRについては、アドミッションのみならず、大学全体のデジタル情報の集積とそれを踏まえた活用(つまり点検・評価と改善への取組策)が求められるわけですが、これらの情報はデジタル化してIR情報として活用されるべきものとして管理されるわけです。それはカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの達成状況についても同様に適用される問題なのですが、現状では本学はその端緒にいたばかりというべきでしょう。

○教育課程 次に、カリキュラム・ポリシーの達成状況です。この課題の中心は教育課程のあり方の評価で、カリキュラム・ポリシーとそれに従って編成された教育課程(カリキュラム)との対応状況です。つまりカリ

キュラム編成の妥当性とその評価ですが、これはディプロマ・ポリシーの達成度の評価に直結する課題になります。

そして、その自己点検・評価を踏まえた教育課程の編成の改善が求められていると同時に、その改善にあたって、履修系統図等の活用状況の設問があります。カリキュラム・マップ、ツリー、チャート、また科目ナンバリングなどの活用が求められています。編成のあり方の見直しは毎年度の課題です。

○授業科目 さらに次のような授業科目の設定が課題です。その課題を列挙してみましよう。アクティブ・ラーニング科目、情報リテラシー科目、ICT科目、数理・データサイエンス、AI教育に係る科目、インターシッピング科目(2週間以上)、さらに分野・学部等を超えたカリキュラム編成(次回に譲りま

す)などです。本学は「アクティブ・ラーニング科目」のみ完全達成ですが、その他は未着手または未達成です。この部分が本学にとって達成すべき重要な分野といってもよいでしょう。

(次号に続く)

## 「ギビングツリー in 弘前」開催

今年度、新たな事業として、大

学全体による「ギビングツリー in 弘前」を実施した。この企画は、文学部の社会教育実習におけるNPO法人日本人材発掘育成協会との連携事業を中心として、ひとり親や兄弟姉妹が多いなど、様々な事情がある家庭の小学校4年生以下の子どもとプレゼントをしたい大人・地域をつなぐ活動として行われた。

子どもたちがクリスマスツリーに飾るオーナメントに欲しいものを書いて申し込み、それを地域の方々、本学教職員のほか、聖愛中学高等学校、東奥義塾

○学修成果 次の問題は、こうしたカリキュラムの中で育った学生の学修成果はどうであったか、という検証です。学修成果は通常、各学期や年度ごとに交付される成績票で確認されます。秀・優・良・可・不可のほか、現在ではGPAによっても表示されます。では、自分の成績・達成度は、たとえば学部の中ではどのように位置づけられるのか、そもそもGPAの分布状況はどうなのか、GPAはIR情報の1つであり、これはいろいろな領域で活用されるデータです。現在よりも

とより今後は、いろいろな意味で、学修成果の可視化とその公開・公表が求められているので、この管理・運用として活用が重要になってきています。

(次号に続く)



高等学校のみならず、日本基督教団の弘前地域の教会のみなさんに呼びかけて、58名にプレゼントを提供した。

クリスマスには、大学礼拝堂で学生と坂本徹先生を中心にクリスマスツリーの周りにプレゼントを飾り、子どもたち

自分のプレゼントをさがしても良かった。また、学長・藁科勝之の先



生ご夫妻のチェロとピアノの演奏、柘植先生と聖歌隊の歌唱、ハインドベルクワイアによるクリスマスソングの演奏や、松本郁代先生と今村のクリスマスリースのプレゼントなど、本学らしいクリスマスとして開催できた。

参加者からは、「とても雰囲気があり、豊かなクリスマスだ。」という感想をいただいた。

(文責 今村かほる)



## 2022年度クリスマス礼拝

12月8日(木)、本学体育館に

おいて、クリスマス礼拝が行われました。コロナ禍ではありませんが、教職員・学生が集い、厳粛な雰囲気の中、オルガンやハンドベルの清らかな音に包まれながら、キャン

ダス、東奥義塾高等学校校長のコウドウエール・ジョン先生より「羊飼いのクリスマス」と題して、マリアの受胎告知からイエスの誕生、そして羊飼いの祝福までの出来事を通して、



メッセージをいただいた。共にイエス・キリストのご降誕を賛美し祝うことができました。(宗教部)

## 「夜間中学」映画上映と講演会

本学英語・英米文学科と教職委員会の共催により、12月17日(土)に、本学の元文学部長であり、札幌遠友塾自主夜間中学前代表である遠藤知恵子先生をお招きして、文部科学省選定・夜間中学校と教育を語る会制作の映画「こんばんはII」の上映

映画「こんばんはII」では、全国の夜間中学に通う人たちのインタビューを通して、義務教育であるはずの中等教育を受けられない人々のさまざまな社会的背景や実情を学んだ。

遠藤先生の御講演では、1948年以来はじめて行われた2020年の国勢調査によれば、青森県には22・092人の義務



教育未修了者が報告されており、人口比は2・18%と全国の平均0・89%を大きく上回っているという実態や、国の制度についてなど、詳しくお聞きすることができた。また、夜間中学を必要とする人々について、生きる力としての教育の必要性を強く感じることができた。

参加した市民や学生たちからは、口々に初めて知った現状に対する驚きと、対策の必要性について、意見・感想が聞かれ、今後も取り組みを継続していくことの大切さを確認した。

研究紹介 54

# 手術体位による外力と末梢神経への影響の検討

看護学部 看護学科 助教 村岡 祐介



周手術期の末梢神経損傷については、圧迫と牽引が主な原因とされている。特に全身麻酔下では、筋緊張が低下しており、骨・人体手術台などによる圧迫が起こる。また、関節が過伸展・過屈曲を受ける機会が多いとされ、体位変換に伴う四肢の回旋や血管のねじれなども神経の血行障害を助長し損傷を受けやすい状況にある、と言われている。圧迫予防として、クッションの使用や圧迫

患者にしばれの有無等を確認することもできず、医療の現場において頭を悩ませるものである。しかしながら、どの程度の外力で末梢神経損傷が起こるかという点、実は明確でない部分が多い。褥瘡を起こすとされている32mmHg以上の毛細血管圧を越えているかどうかを問題とするものも言われており、強い外力が加わって神経組織に影響を及ぼすことも言われている。また、神経の栄養血管の虚血など様々な要因が関連しており、外力と神経への影響については明確な数値は明らかにされておらず多くの研究が行われている。

この研究については、弘前大学の教員と共同研究として行っており、更に弘前大学医学部附属病院の医師や弘前大学保健学科の教員にも協力を得ている。多くの協力ののもとに、現在研究を進められていることに感謝している。

準備をさせていただいたFD委員会の先生方、そして、何よりご参加された先生方、職員の方々に本当に感謝をさせていただきます。良い時となったことを、何よりも主に感謝したいと思います。これからも、よい学びの機会が提供できるよう努めていきたいと思っております。

一度末梢神経損傷を起こしてしまうと、数日から数年単位でしびれや麻痺の残存が起こり、ADLの低下や長期的なリハビリ、仕事や生活への影響も起こり得る。これらのことから、周手術期の末梢神経損傷は予防が必須であるが、手術中に何度も体位を変えることは難しく、意識のない

今回の研修会の内容は、発達障がいについての学びでした。発達障がいや身体障がいとは異なり、健常者・障がい者と明確に分離することが困難な、障がいそのものの

準備をさせていただいたFD委員会の先生方、そして、何よりご参加された先生方、職員の方々に本当に感謝をさせていただきます。良い時となったことを、何よりも主に感謝したいと思います。これからも、よい学びの機会が提供できるよう努めていきたいと思っております。

## 談話室

### いつもさり気なく —入江先生のこと—

日本文学研究科長 畠山 篤

入江英弥先生の本学での業績の数々は、薬科学長先生のお別れの言葉に集約されているので、大いなる仕事については触れないことにする。

入江先生は、何事もさり気ない人だった。彼は苦勞人だったので、次第にそういう生き方を会得したもののようである。

世間には様々な人がおり、びっくりするほど人に辛く当たる人もいる。入江先生の専門である民俗調査の折、そういう方がしばしばお目にかかる。私も祭祀調査で奮闘する時、これで随分悩まされてきた。しかし民俗学を専門にする入江先生はそういう場で練

られ、実に軽やかに危機をかわしながら、成果を上げていくようだった。この業は見事というしかないように思われた。職場でもその業が発揮され、私などもどれだけ助けられたことか。

文で専門の分野を広げることが、大いに期待された。そして、そのような先生を慕う学生も多かった。

今年度の二度目の実習「健康づくり実習Ⅰ」に取り組みました。前回のプライマリヘルスケア実習Ⅰは、指定難病の患者とそのご家族から直に体験談を伺うことができたという大変貴重なものでした。この度の健康づくり実習Ⅰはさらに視野を広げたカリキュラムとなつてい



地元である平川市の広報で父子手帳を作成・配布しているという記事を読んだことがきっかけで、父子手帳に興味を持ち、卒業研究のテーマにすることにしました。私は「父子手帳活用状況と育児参加との関連」というテーマを立て、父子手帳の活用状況と、より高い意識で育児参加すること

テーマを決める段階から、計画・実施・結果・考察の一連の流れに沿って作成したことで「論理的な視点」をもつことができたのもそうだが、その過程の中で「自分自身で考え、解決していく力」も養うことができた。また、たくさんの方々の協力があったこと、1つの研究が成り立つことを実感することができた。1つの研究を完成させ、卒業研究発表までやり遂げることができたのは、本研究に快く協力してくださった対象者の方々、市役所及び平川市内の保育園・幼稚園の職員の方々の協力とともに親身になつてサポートしてくださった大瀬先生の存在があったからこそだと考える。感謝の気持ちを忘れずに卒業研究を通して得た学びを将来の糧にして、青森県の命の誕生を陰で支えられるような助産師を目指して精進していきたい。

明していただき、そのことから分かったのは、民生委員の役割が非常に幅広いものだということです。地域住民の中には健康的な生活を妨げるような様々な事情によって苦しんでいる人がいます。民生委員は住民の皆様が抱える「困りごと」をいち早く察知し、これからも同じ地域で暮らしているよう相談や援助を担っています。地域ケア会議に挙げた課題には複数の職種でアプローチし、解決へと導いていきますが、民生委員はその架け橋とも呼べる立ち位置にいます。

## 卒業研究を終えて

看護学部 看護学科4年 佐藤 紫依璃



卒業研究を終えて

健康づくり実習Ⅰ」を終えて

健康づくり実習Ⅰ」を終えて

## 社会福祉学部FD研修会について

社会福祉学部FD委員長 柘植 秀通

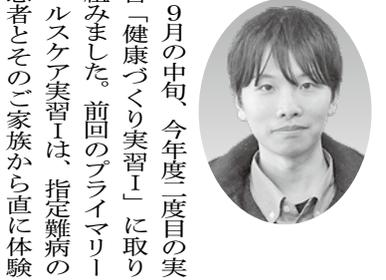
意味を問うような障がいです。実際に、大学生の中にも少なくない数の発達障がいを持つ学生が存在しており、困難にぶつかっています。この状態を、何より、先生方、特に看護の先生方が憂いておられ、今回の研修会にも、実に多くの看護の先生方が参加してくださいました。本当に、力づけることです。

準備をさせていただいたFD委員会の先生方、そして、何よりご参加された先生方、職員の方々に本当に感謝をさせていただきます。良い時となったことを、何よりも主に感謝したいと思います。これからも、よい学びの機会が提供できるよう努めていきたいと思っております。



## 「健康づくり実習Ⅰ」を終えて

看護学部 看護学科1年 林 裕隆



健康づくり実習Ⅰ」を終えて

健康づくり実習Ⅰ」を終えて

健康づくり実習Ⅰ」を終えて

# 博物館実習報告を終えて

文学部 日本語日本文学科4年 和田 萌々夏

今回、七戸町立鷹山宇一記念美術館で実習をさせていただきました。高校のインターンシップで一度お世話になっておりましたが、当時は学芸員の知識をもち合わせておらず、任せていただいた業務もごくわずかでし



児童作品額装作業の様子

た。しかし、大学の講義を通して学芸員になるための知識を身に付け、再びこうして鷹山宇一記念美術館で実習する機会が訪れたことを嬉しく思います。実習中は主に企画展『鷹山賞児童作品展』に向け、準備作業を行いました。その中で私は約九十点の児童作品の額装、キャプション・パネル作りや特典準備といった細かい作業を行いました。また児童作品をどこに展示するか、メジャー片手に調節し

# 社会教育実習を終えて

文学部 日本語・日本文学科3年 間宮 理太

私は、8月6日〜9月3日の実習期間のうちの4日間で、「子ども天文クラブ」「子ども小説・まんがアカデミー」「図書館実習」「子どもリーダー養成事業」の4種類の実習をさせていただきました。この中で特に心に残った二つを紹介します。

まず「図書館実習」についてです。全体の流れとしては図書館について座学をし、カウンター業務体験、本のラップコート体験、最後にレファレンス体験という流れで実習をさせていただきました。全体を通して、図書館というのは本の魅力を伝えるだけでなく、弘前に根付く

文豪の紹介や本の確実な保全など、市民の生涯学習のために大きな努力をしているのだと感じました。そして二つ目は、「子どもリーダー養成事業」です。この事業では様々な体験に集団で取り組み、最終的には未来で活躍できるリーダーを育成することを目指しています。今回参加させていただいた時に実施していたものとして、弘前市の友好都市である群馬県太田市に、自分たちの住む町のPRのためのオリジナルマップを作るという内容で

ながら配置を決めていきました。学芸員は想像以上に体力が必要で、様々な業務をこなしながら展示会場が完成するのほど実感しました。この美術館は五人のスタッフが在籍しており、うち四人は女性です。業者に頼らず、できることは自分たちでやるというスタイルで企画展を作っているそうです。力仕事を要する場面でも協力して作業を進めます。私が行った作業も、普段はスタッフで分担して準備を行っています。楽しいだけではなく、こういった運営の大変な一面も見ることができ、身近な学芸員の仕事にさらなる興味を持つことができました。

高校の時とは異なり、やらせていただいた業務も多く、様々な経験をする事ができ、とても充実した実習となりました。最後は、今回の社会教育実習を経て感じたことは、協力がいかに大切かということです。私は浅学のため、今までは学校教育こそが教育の全てだと感じていました。しかし、学びというのは生涯教育という名の通り早すぎることもなければ、遅すぎることでもありません。一生を通じて通すものです。そしてそれは絶対に誰かの協力がなければ成り立ちません。今回の実習は我々だけでなく中央公民館、図書館の方々を初め、様々な方の協力の元で成り立ったものであり、生

# 「インターンシップを振り返って」

文学部 日本語・日本文学科3年 寺田 みこと

来年度、本格的な就職活動が始まるため、夏季休暇などを利用して様々なインターンシップに参加しました。中でも印象に残ったのは、五所川原市役所でのインターンシップです。

三日間の日程の中、総務課、商工観光課、地域物産振興課の三つの課において、勤務に関わらせていただきました。インターンシップを通して、市役所の業務について理解を深めることを目標として臨みました。

一日目は、総務課において、市役所の概要や仕事内容などを説明していただいた後、広報誌、文書、公印、議会、情報公開制度などについて詳しく学びました。覚えることが多く、勤務内

容の大変さを理解しました。二日目の商工観光課では、工業団地や立佞武多の館での現場見学、立佞武多の解体作業を行いました。企業誘致や経営の支援の施策、海外との連携など様々なことを学ぶことができました。三日目は、地域物産振興課において、PR動画の作成や広報用の写真撮影を行いました。実際に道の駅を訪れて動画を撮り、編集をする作業をして、相手に情報を伝える難しさを実感しました。全ての課において、仕事内容や取り組みについて丁寧に説明していただきました。インターンシップに参加したからこそ聞けた情報は、今後の就職活動の参考になると考えました。

今回のインターンシップでは、緊張する場面は多かったです。業務について理解を深めるだけでなく、積極的な発言や行動を取ることができました。しかし、まだ企業研究や自己分析が足りないと感じさせられる場面もあり、同時に自身の知識不足も痛感しました。インターンシップで学んだことを踏まえて、来年度にむけて就職活動の準備を怠らないようにしていきたいと思えます。

# 社会福祉実習を終えて

社会福祉学部 社会福祉学科3年 天坂 航大



2021年8月22日から9月22日まで、特別養護老人ホーム桑寿園で実習をさせていただきました。今回は天坂航大です。今回の社会福祉実習では主に自身のコミュニケーション能力に焦点を当て、自分のコミュニケーション

でクライアントのニーズを解消するというイメージを確立させるとともに、その過程をしっかり学ぶことをテーマとしました。

特別養護老人ホームの利用者は介護度が原則3から5の方で、状態としては一人での食事の摂取が困難であったり、排泄入浴が困難であることが例として挙げられます。また、実習では様々な利用者とのコミュニケーションをとりました。最初はうまくコミュニケーションが取れないことや、会話が沈黙が続くことが多く、後ろ向きになってしまふことがしばしばありました。しかし、実習の日数を重ねていくうちに、利用者とのコ

具体的には話しかけても返事がない人を例として挙げます。話しかけても返事がないということは、耳が悪く聞こえないことや、緊張してしまつて反応がでないなど様々な原因が考えられます。そして、この原因を認知するためには情報を得なければならず、数回にわたり面談を行わなければなりません。このことから、私は今まで人を第一印象や自分の固定観念から決めつけているということに気づきました。そのため、決めつけないこと、落ち着くことこの2つが今後の私の課題であると感じました。

# 精神保健福祉実習を終えて

社会福祉学部 社会福祉学科4年 齋藤 悠輝



私は精神科病院や地域活動支援センターでの精神保健福祉実習を通して、精神保健福祉士とは、「利用者本人が様々な社会資源を活用し、これからの生活をどうしていくかを利用者本人から引き出し、支援していくこと」が求められる専門職であると学んだ。

具体的には精神保健福祉士は、他の専門職や家族と関わり、それぞれと連携を図ったり、専門職のみならず、施設と地域の様々な人、機関をつなぐ役割もあると学んだ。また精神保健福祉士は利用者本人が望んだ生活を送ることができるよう相談し、調整をしていくことでやりがいを感じるのではないかと考えた。

障がい者事業所での実習は、地域での精神障害者の暮らしが見えた。障がい者事業所では、障害者総合支援法の地域移行支援や自立生活援助を行い、利用者本人の自己決定を尊重して、利用者自身が望む生活を送れるように支援していた。特に、地域移行支援では、利用者本人が自分の意志でこれからのように生きたいかが語られるように話を引き出し、実現することが求められると学んだ。また、障がい者事業所では常に利用者に関わることができ、環境があり、多くの利用者に関わることができた。そして、その中で今までの授業では得ることのできなかった初対面の人との会話について学んだ。今後は、利用者とのかわりから、自分の得意なもの核となるものを見つけ、自らの自信に繋げられるようもっと多くの人と関わっていきたく考えた。

積極的に利用者に関わっていただくことで、自分がこの人から何を聴きたいのか、今の話の流れから踏み込んだ話ができるのか、といった利用者との距離感を徐々につかめるようになってくる。しかし、思ったように関係性を築けなかったり、どうむようになり、そしてニーズ解消が達成されませんでした。今回実習で学んだことは実践現場に限らず日常生活でも役立つと思います。このような貴重な経験をさせていただきありがとうございます。心かげるべきことだと学んだ。

# 2022年度 ハロウィーンパーティー

文学部 英語・英米文学科 教授 エドワード・フォーサイス



2022年10月28日に大学のハロウィーンパーティーを行った。学生60名と教員3名が参加した。参加者の何名かはコスチュームを着てパーティーを楽しんだ。

最初のアクティビティはグループごとにジャック・オー・ランタンを作ることで、いろいろな面白いデザインができた。またJack-O-Lanternを作りながらゲームを2つを行った。1つ目はガラス瓶の中のアメの数を当てるゲームで、一番近い数の学生はその瓶をもらうことができた。2つ目のゲームは大きいかぼちゃの重さを当てるゲームで、当てた学生はハロ

ウィーンの飾りももらった。またTrick-or-Treatも体験。アメリカのハロウィーンを体験できるようにグループごとに1号館の様々な部屋に行き「Trick-or-Treat」と言い、楽しみながらお菓子を

貰った。最後に皆で集合写真を取り、パーティーを終えた。とても楽しいイベントを行うことができ、参加者全員がアメリカ文化を経験することができた。

2022年10月28日に大学のハロウィーンパーティーを行った。学生60名と教員3名が参加した。参加者の何名かはコスチュームを着てパーティーを楽しんだ。

2022年12月2日に大学のクリスマスパーティーを行った。学生53名と教員3名が参加した。パーティーの開催のため大学内の様々な場所にクリスマスツリーを飾り、クリスマスマスの雰囲気になったところ、参加者はオーナメントを作ったり、ツリーに飾ったりした。

次にメキシコの文化のピニャータをした。学会員がサンタクロースの形のピニャータを作りキャンデーを入れ、参加者たちはそのピニャータを棒で叩いて開け、皆でキャンデーをたくさん拾った。最後のアクティビティはクリスマスビンゴ。ビンゴカードには数字の代わりに欧米のクリスマスに関連した絵が描かれてあり、英語でクリスマス単語の練習をしながらビンゴを楽しんだ。



皆でクリスマスキャロルを英語で歌いパーティーを終了した。とても楽しいイベントで大学のクリスマスシーズンを始めることができた。



一月十四日(土)十三時から一号館大講義室にて、国語国文学会冬季大会が開催された。コロナ禍の影響により二年前開

## 2022年度 クリスマスマスパーティー

文学部 英語・英米文学科 教授 エドワード・フォーサイス

皆でクリスマスキャロルを英語で歌いパーティーを終了した。とても楽しいイベントで大学のクリスマスシーズンを始めることができた。

## 令和4年度 国語国文学会冬季大会

文学部 日本語・日本文学科 教授 鎌田 学

催を見送ってきたが、関係各位の皆様のご協力によって今年度は実施することができた。

まず初めに、十和田地区への菅原彩音さんと寺田みことさんが行った。企画の目的を、高村光太郎の彫刻作品「乙女の像」をみるとともに、十和田神社に伝わる伝説、そして十和田市のアートによるまちづくりを学ぶことと説明した。またバス移動の途中、江戸時代の紀行家菅江真澄も訪れた「かさか七滝」や「七滝神社」を見学することもできた。

## 日本語・日本文学科 卒業論文発表会

文学部 日本語・日本文学科 教授 鎌田 学

一月十四日(土) 十五時から一号館講義室1、2、3にて日本語・日本文学科の卒業論文発表会を行った。ここ二年前はコロナ禍のため実施することができなかった。今回は久しぶりの開催となった。

- 当初、発表者の持ち時間は質疑応答を含め十五分の予定であったが、ほとんどの人が時間を超過して熱心に自説を展開した。以下、当日の発表者とそのタイトルである。
- 池田 奈穂 『どうぶつ森』論
  - 古川 瑠乃 インターネットスラング研究
  - 武田 佳久 綾辻行人論
  - 田中 杏 少女マンガの「恋愛」描写についての研究
  - 千田 侑加 日本文化における変身についての研究
  - 對馬 利那 日本現代建築論
  - 長利 玖玲杏 共通語・方言から見る教科書教材研究―「生きる力」から見る平成9年以降の中学校国語教科書について―
  - 川浪 萌絵 国語教育における文学教材について―つけたい力から見る定番教材の比較―
  - 野呂 日南 日本文化における構図についての研究
  - 山下 紗夢希 「ハイスピード推理アクション」についての研究
  - 松山 拓真 森鷗外の青春と挫折―「舞姫」周辺―
  - 鶴ヶ谷 朱梨 日本和歌における女性と植物
  - 尾崎 聖人 ヤマトタケル伝承の研究―建く荒き情と惶れ―
  - 佐々木 恭輔 『遠野物語』の研究―間引きと遠野物語の河童―
  - 寺山 乃映 平川市無形民俗文化財「たいまつ流し」と岩館地区



## 2022年度 弘前学院大学学位記授与式

- 文学部 第49回
  - 社会福祉学部 第21回
  - 看護学部 第15回
  - 大学院社会福祉学研究科修士課程 第19回
  - 大学院文学研究科修士課程 第17回
- ◇日時：2023年3月18日(土) 午前10時～  
◇場所：弘前学院大学体育館

## 卒業記念礼拝

- ◇日時：2023年3月17日(金) 午前10時～  
◇場所：体育館  
\*礼拝終了後、体育館において学位記授与式のリハーサルを行う。



たち―二つの『衣通姫(そとほりひめ)の流(りゅう)』―という題目で研究発表を行った。発表の要旨は以下の通り。

古代文学における「衣通姫」の名称の背後に、美しい「恋衣(こひころも)」を着て恋する男女が恋の時間II夜に相逢うという恋愛習俗がある。そして、恋のオーラがこの恋衣を通すほどに恋慕する衣通姫という非恋の姫の歌物語が形成された。そこには、①忍耐型(上位の女性たちに遠慮して恋人との逢うことを耐え忍ぶ姫)として允恭紀の弟姫

(おとひめ)と古今集の小野の町の歌物語があり、②奔放型(直線的に恋人を激しく恋慕する姫)として允恭紀の軽(かる)の太郎女(おほいらつめ)と万葉巻二相間の誓の姫の歌物語がある。この二つの「流」(系譜)が併存していた。この衣通姫伝承は、古代天皇制の祭政一致を基盤とした色好み一夫多妻制のもたらした産物である。

なお当日は悪天候にもかかわらず、会員だけではなく一般市民の方々の参加もあった。この場を借りてお礼を申し上げたい。